

「いま古典を問う」古典学の再構築 第2回公開シンポジウム報告

「古典学の再構築」では、平成11年7月17日(土)・7月18日(日)の両日、統計数理研究所(東京都港区南麻布)において第2回公開シンポジウムを開催した。両日ともに、多くの人々が熱心に聴講する中で講演が持たれ、活発な議論が展開された。

ここにはそのプログラムを掲載する。講演の要旨は次ページ以下に特集する。

7月17日(土)

13:00 はじめに

古典学の再構築・目標と方法

中谷英明

14:00 特別講演

行政改革と学術研究 独立行政法人化と人文科学の研究環境

石井紫郎

15:00 ディスカッション

15:45 基調講演(1)

人間にとって古典とは 現代の状況の中で

藤澤令夫

16:45 ディスカッション

17:15 事務連絡

「古典学の再構築」研究費事務処理について

及川昭文・丸井 浩

7月18日(日)

9:00 東西古典学会準備会

9:30 第5回総括班会議(拡大)

[司会 月村辰雄]

10:00 調整班講演

東西古典世界における「学」の理念と内実

内山勝利 古代ギリシアにおける「学」の理念と内実

平田昌司 19世紀末～20世紀初期の中国における古典学の崩壊

市川 裕 ラビユダヤ教の宗教原理と学の理念

鎌田 繁 イスラームにおける学の理念

中谷英明 古代インドにおける哲学と文献学

11:30 ディスカッション

[司会 関根清三]

13:00 基調講演(2)

ヒューマニズムとしての古典研究

今道友信

14:00 パネルディスカッション

今道友信・エンゲルベルト＝ヨリッセン・平田昌司・徳永宗雄・鎌田 繁・

市川 裕・小池澄夫・月村辰雄